



▲県立高校の現状説明（上）とワークショップの様子（下）

地域と協働して、 高校の未来を 考える

■県立高校の10年後の未来を考える

11月26日（火）町生涯学習センター・ホールで「県立高等学校のあり方検討会」の地域意見交換会が開催されました。人口減少時代の「地域における高校のあり方」について、子ども、保護者、教職員、地域とともに考え、より魅力的な学校を創り続けていくために参加者の意見を伺い今後の参考とするために、県立高等学校あり方検討会が主催。はじめに、県教育庁高校教育課から10年後の地域における県立高校のありたい姿や、学校規模や配置の考え方、定員割れ対策や通学区域の考え方について、現在の高等学校の課題が説明されました。

■ワークショップでの意見交換

参加者は各グループに分かれて「10年後、この地域にあって欲しい高校の姿」をテーマとしてワークショップを行い、それぞれが考える高校の未来やあるべき姿、魅力ある学校づくりに向けた取組みを行ううえで、地域や町との連携を図るために必要なことなどについて意見を出し合いました。

魅力発信！甲佐高校通信 vol. 22

県立甲佐高校（甲佐町横田 327） ☎ 096-234-0041

甲佐高校生らが地域と連携した 防災避難訓練を実施

11月7日（木）甲佐高校で震度6強を想定した防災・避難訓練が実施され、甲佐高校、松橋西支援学校高等部上益城分教室の生徒や職員、横田地区の住民、若草保育園の園児など268人が参加しました。

同訓練は生徒の防災意識の向上を図り、近隣の住民や保育園と連携することで生徒の社会貢献への意識を高めることを目的に甲佐高校（田中康一郎校長）が主催。

生徒たちはグラウンドへ避難した後、住民や園児たちの避難誘導を実施。避難訓練後には消火器を用いた

消火訓練が行われました。同訓練を視察した町くらし安全推進室の山下玄介室長は「地震は突然発生しますから、今回の訓練で身につけたことを忘れず、今後に活かせるようにしてください」と講評を述べました。

参加した生徒は「地域の方々の誘導や、消火器を使う訓練は火災を広げず、命を守ることにつながると思いました」と感想を話しました。

訓練終了後、生徒たちは新聞紙で作るスリッパや食器などの防災グッズの作り方を学びました。



▲甲佐高校生による避難住民の名簿作成（上）と消火器を使った消火訓練（下）

甲佐高校ホームページでも
高校ライフを発信中です▶



R7.1

甲佐町イベントカレンダー



◀ 詳細はウェブサイト
でご確認ください。

日	月	火	水	木	金	土
12/29 年末年始閉庁日 (1/5まで)	12/30	12/31	1 元日	2	3	4
5	6 法律・人権・行政相談 (町福祉課)	7	8 小・中学校始業式 (町学校教育課)	9 消費生活相談 (老人いこいの家)	10	11
12 二十歳の成人式 (町社会教育課)	13	14 1歳半・3歳児健診 (町健康推進課)	15 行政区配達 (町総務課) 認知症についての 相談会と家族のつどい (町福祉課) マイナンバーカード 夜間窓口(要予約) (町住民生活課)	16 消費生活相談 (老人いこいの家) 4ヶ月・7ヶ月児健診 (町健康推進課)	17	18
19	20 心配ごと相談 (町福祉課)	21	22	23 消費生活相談 (老人いこいの家)	24	25
26	27	28 口座振替日 (町税務課)	29 マイナンバーカード 夜間窓口(要予約) (町住民生活課)	30 消費生活相談 (老人いこいの家)	31 納期限 夜間窓口 (町税務課)	2/1

※ やむを得ず中止・延期になる場合があります。